

＝プログラム＝

9:00～ 受付開始 【高木講堂】
オリエンテーション

9:30～10:00 会長講演
「こころを動かす看護を明日へつなぐ」
学術集会長：山岸 仁美 (元宮崎県立看護大学)
座長：勝野 絵梨奈 (宮崎県立看護大学)

10:10～11:40 基調講演 【高木講堂】
「省察的実践者として学び続ける」
演者：三輪 建二 (星槎大学大学院)
座長：濱岸 真由美 (宮崎県立看護大学)

～昼食～ 【学生会館】

13:00～14:00 ポスター発表

1群 座長：川村 道子 (宮崎県立看護大学) 【臨床看護実習室3】

- 1) 精神科看護における食欲低下を認める患者への食事援助に関する文献検討
発表者：大村 真由 (医療法人同仁会 谷口病院)
- 2) 精神科退院前訪問実施後地域移行につながった事例における看護師の視点
発表者：池間 功一 (宮崎県立看護大学)
- 3) 精神科看護におけるケアリングに関する文献検討
発表者：服部 克彦 (帝京平成大学)
- 4) その人らしく生きていくための援助
発表者：矢野 昭代 野田 孔美 岡本 美貴 三好 健太
(社会医療法人善仁会 宮崎善仁会病院)

2群 座長：邊木園 幸 (宮崎県立看護大学) 【臨床看護実習室3】

- 1) 夫の急死に伴い施設入所となった対象における看護の検討
発表者：山本 麻依 (訪問看護ステーションぱりおん)
- 2) 訪問看護へ拒否のある利用者への関わり方と受け入れの関連
発表者：村富 友字子 (訪問看護ステーションぱりおん)
- 3) 手術室に配置転換となった看護師とそれを支える指導者が抱える困難感～手術室の新人教育を円滑に行うためには～
発表者：川崎 麻里奈 親盛 智子 孝橋 由加里
岩満 芽久美 (宮崎県立宮崎病院)
- 4) 病棟看護師の手指衛生に対する認識
～アルコール手指消毒剤の目標使用量達成に向けて～
発表者：鍛冶田 修 瀬戸山 江美 岩切 亜由美
杉野 理来 森山 美月 (宮崎県立宮崎病院)

14 : 10～15 : 10 交流集会

交流集会 1

【多目的ホール】

便秘・冷え性に対する生活改善の効果
～【『看護覚え書』に学ぶ生活科学】その適用～

話題提供者：名越 麗央（鹿児島市立病院）

川原 萌（福岡大学筑紫病院）

椎葉 早咲（国立病院機構 九州医療センター）

鬼塚 千尋（宮崎大学医学部附属病院）

ファシリテーター：小河 一敏（宮崎県立看護大学）

交流集会 2

【小講義室 3】

医療的ケア児と家族が安心して、
退院早期の生活をスタートするための在宅移行支援

話題提供者：吉田 幸代（訪問看護ステーションぱりおん）

ファシリテーター：川原 瑞代（宮崎県立看護大学）

交流集会 3

【小講義室 4】

チームの看護力向上のために、看護管理者として
大切にしていること～看護にわくわく感を～

話題提供者：野邨 つぐみ（地方独立行政法人西都児湯医療センター）

ファシリテーター：伊尾喜 恵（宮崎県立看護大学）

交流集会 4

【小講義室 1】

精神科臨床において看護師は何にどこを動かされ
看護に向かうのか？～精神を病む対象への看護の原体験より～

話題提供者：葛島 慎吾（宮崎県立看護大学）

ファシリテーター：川村 道子（宮崎県立看護大学）

交流集会 5

【小講義室 2】

育児期の月経前症候群の症状の対処方法を考えよう

話題提供者：長友 舞（宮崎県立看護大学）

ファシリテーター：濱寄 真由美（宮崎県立看護大学）

15 : 20～16 : 20 シンポジウム

【高木講堂】

「こころを動かす看護」

座長：小野 美奈子（宮崎県立看護大学）

山岸 仁美（元宮崎県立看護大学）

シンポジスト：大脇 裕子（宮崎県立日南病院）

「師長としての3年間のプロセスから

明日へつなぐ看護を考える」

吹上 絢子（宮崎県立こども療育センター）

「卒業後も入所継続となった重症心身障害児への
施設全体での取り組み」

萩原 嬉胡（宮崎県南部福祉こどもセンター）

「わたしを突き動かすものとは～コロナ禍における
妊婦支援を通して考えていたこと～」

16 : 30～

集会長挨拶・次期集会長挨拶

【高木講堂】

閉会

16 : 40～

懇親会

【中講義室 3】